

Rotary International District 2630 2018-2019

# 月信 MONTHLY REPORT 6

ガバナー

Rotary



インスピレーションに  
なろう

国際ロータリー 第2630地区  
2018-2019年度  
ガバナー 木村 静之

June  
2019  
Vol.12



記憶

## CONTENTS

- 「親睦活動月間」「一年を振り返って」……………P2  
2018-19年度 ガバナー 木村 静之
- 2019年度 米山奨学生入学オリエンテーション開催…P3  
青少年交換部門委員会報告
- 2018-19年度クラブ会長挨拶…………… P4-13
- RID3600(韓国)地区大会参加報告……………P14  
地区代表幹事 問宮 久人
- 鈴鹿・亀山グループ ローターデー開催  
(ポリオ撲滅募金活動)……………P14-15  
鈴鹿・亀山グループガバナー補佐 村山 竹則
- 各務原高校インターアクトクラブとのポリオ募金活動 ……P15  
各務原ロータリークラブ
- 岐阜城ロータリークラブ25周年……………P16  
郡上八幡ロータリークラブ50周年
- ハイライトよねやま…………… P17
- 4月度出席報告…………… P18
- 会員動静報告…………… P19
- 地区研修・協議会 報告……………P20  
各事務所の案内

第2630地区のHPは  
スマートフォンでも  
ご覧いただけます





## 「親睦活動月間」「一年を振り返って」

2018-19年度 ガバナー

木村 静之

今年度最後のガバナー月信をお届けします。まずご報告から。

**【韓国訪問】** 4月24～25日に韓国第3600地区の地区大会に出席してまいりました。ソウル近郊で開催されました。3600地区のチョン・ビョンソンガバナーは地区大会の運営で多忙にもかかわらず、私たちのことを何かと気遣ってくれました。第3600地区は今年度200～300名の会員増強を達成し、新クラブもいくつかできたとのこと。勢いが感じられます。日韓関係は政治的に困難な問題もありますが、ロータリーの「奉仕の理念」は共通です。互いの信頼関係を築き、インターアクトの交流など意義のある活動を続けていきたいものです。

**【親睦】** ロータリーは親睦を大切にします。親睦（Fellowship）は単に飲み会や遊び会のことを指しているではありません。会員相互が、信頼と寛容の基盤の上に互いに親しさを深めて、ロータリーの理念を共に学ぼうとする同じ志をもった仲間意識を確かなものにする事です。親睦で築かれる信頼関係を基礎として、会員一人ひとりが成長し、思いやりの心を育み、地域社会や世界で奉仕活動を実践することが大切だと思います。そして、共に奉仕活動をする中で、さらに親睦が醸成されます。過去に同じクラブの仲間と共に海外で奉仕プロジェクトを行ったことがありますが、このような奉仕活動を通じて仲間意識が一層強くなり、一生の記念として心に残っています。

**【一年を振り返って】** この1年間どこまで成果を挙げられたか忸怩たる思いですが一所懸

命務めさせていただきました。思い起こせば、75クラブの会長・幹事の皆さんには、公式訪問の際の懇談で各クラブの実情を詳しくお話しいただき、地区運営に対するご意見もいただき、たいへん参考となりました。ガバナー補佐（AG）の皆さんには、複数回にわたる各クラブ訪問とIM主催にご尽力いただきました。それぞれのコンセプトに基づくIMはたいへん有意義でありました。地区委員会委員長（CC）の皆さんと委員の皆さんには、ロータリーの理念と目的を推進するため、セミナーの開催や例会卓話を通じて、それぞれ専門的な立場からクラブを支援いただきました。ロータリーは、各クラブが主役でそれを支援するのが地区です。多くの地区委員のかたがそれを担っておられることを実感しました。

地区最大の行事である地区大会は、「理念を学び」「奉仕の意識を高める」という両面をしっかりと組み込んだ企画をと考えました。多数の会員の皆さんにご参加いただきありがとうございました。実行委員長を中心とする実行委員会の皆さんのご尽力に改めて感謝いたします。

この1年間、パストガバナーやRIの役職者など先輩の皆さんから多くのご指導を受けました。それでも最終的には「ガバナーの思うようにやりなさい」といってご支援をいただいたことは大変ありがたく、かつ責任の重さを自覚した次第です。第2630地区の会員の皆さんには、この1年間お付き合いをいただき本当にありがとうございました。

## 2019年度 米山奨学生入学オリエンテーション開催

4月21日名鉄ニューグランドホテルにて午前10時から奨学生・米山カウンセラー研修会を行いました。

研修内容は（米山記念奨学制度）・（カウンセラー制度）・（奨学金の受給）などで奨学生は、研修後、確約書にサインして正式に16名を米山奨学生として認めました。次に、各受入世話クラブのカウンセラーと奨学生初顔合わせを行い、5月からの例会訪問日時調整・交通手段方法などの打合せをしました。

午後より入学オリエンテーションを行い、木村静之ガバナー・辻正敏ガバナーエレクトより祝辞を頂き、4月分奨学金と米山奨学生バッジをお渡し、その後奨学生は「自己紹介」「どうして日本を選んだのか」「研究内容」をテーマとして3分スピーチをして頂きました。なかには登壇後、緊張のあまり日本語が話せなくなりしばらく赤面で呆然と立ちすくんでいる方もいました。あわせて、カウンセラーより奨学生に期待すること、受入についてなどスピーチを頂きました。

また、米山学友会の管 浩然（カン・コウゼン）会長ほか2名の学友会員も参加され祝辞を頂き、16時より会場を移して新米山奨学生歓迎会を開催、奨学生全員とガバナー・ガバナーエレクト・地区米山委員も参加いたしました。

緊張の会議から解放され、母国語で奨学生同士が会話される風景がとてもよく、参加者からは楽しい、また開催してほしいとの意見が多く聞かれました。



## 青少年交換部門委員会報告

4月21日、青少年交換委員会+交換学生オリエンテーションを実施いたしました。



## 一年を振り返って



### 一年を顧みて

桑名ロータリークラブ  
会長 福井 孝尚

我がクラブはここ数年、幹事を終えて間もなくの会長職就任という状況が続いております。私としては年数を置かずには済むのであれば、と楽観的に捉え2年間突っ走って参りました。

少年野球大会、高校生への奨学金授与は大切な継続事業として挙行、会員増強は1名増、また近日中に候補者を挙げて頂く予定です。家族会は創立新春例会並びに御園座錦秋歌舞伎鑑賞&ヒルトン名古屋夕食会、職場例会は惜越ながら我が寺をご案内させて頂きました。担当委員会とSAAの連携のお陰で、交流を深められたことは会長としてこの上ない喜びでした。

交換学生の実入れについてはとりわけ印象に残っています。何と言っても高校生ゆえ、様々な振る舞いがあり、ホスト家庭はもとより、受け入れていただいた桑名高校の先生方に一方ならぬ苦勞をおかけし、受入クラブの会長としてお詫び申し上げます。今は唯、派遣中の嵯峨井萌さんが恙なく留学期間を終え無事に帰国することを念じております。

最後に、会長として至らない私と共に様々なプログラムにご尽力頂きました幹事始め我がクラブの会員の皆様へ、心よりお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

桑名北ロータリークラブ  
会長 山本 勝

今年度の当クラブは、会員に多く例会に出席頂き、相互の交流が深まり、充実した「楽しい・感動」のロータリー活動となるよう「感奮興起」をテーマに掲げました。

理論的には、私たちは職業奉仕という幹の中で活動しており、「奉仕の理念」を学ぶ場は「例会」であり、奉仕活動を担うのは個々の会員であります。会員の奉仕活動に対する意欲をどう喚起するかに常々努めてきました。

結果、例会第一日目で「百パーセント例会」を実現し、その後鈴木英敬知事を招いての「公開講座」、特別委員会を設置して「桑名市の観光資源をさらに生かす」調査研究を行い、桑名市に提言するなど、内容の濃い一年間の活動でした。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

桑名西ロータリークラブ  
会長 矢田 俊二

昨年3月のPETSに始まりすでに1年を経過いたしました。「例会を楽しみ・会員相互の親睦を高め・会員増強を計り・地区行事に積極的に参加する」と云う計画の元に活動してまいりました。このロータリアンにとって基本となるテーマのもとで2名の会員増強を得る事ができ、例会の品格と楽しさをより強固なものにすることが出来ました。

盲導犬育成に係わる、ショッピングモールでの啓発活動・募金活動でも会員全員で活動にて成果を上げられたと感じて居ります。

全会員の御協力のもとで1年間盛り上げて戴き、会長職を務める事が出来感謝に耐えない次第です。

今後は会員と家族が喜び楽しみ、地域にも喜ばれ発展するクラブになる様務めていきたいと思っております。



### 一年間を振り返って

四日市ロータリークラブ  
会長 九鬼 紋七

今期のRIのテーマを受けて、「ロータリアンらしい感性そして素直に行動を」というクラブテーマを掲げて1年間活動しました。主に、各例会時における会長挨拶にて、さまざまな話題を提供させて頂きました。会員各位の気付き、インスピレーションに役立てばとの思いで、ガバナー事務所やRIからの情報を基に、ロータリーに関する情報を、現在のことだけでなく、歴史的なことも伝えました。外部卓話講師として私の知人友人から、桜、中村天風財団、心理、NVC、企業におけるガンを持った社員への対応など、多様な話題を提供できました。予定していた諸事業が大きなトラブルもなく実施できたことは、会員各位のご協力の賜物です。感謝申し上げます。



### 一年を振り返って

桑名中央ロータリークラブ  
会長 椽尾 光春

昨年の7月に会長を拝命し、早いもので任期も残り僅かとなりました。この1年間、蛭川知行ガバナー補佐様のご指導のもと、幹事や会員の皆さんに支えられて、なんとか無事に役目を全うできそうです。木村静之ガバナーは『我々が奉仕の理念を胸に秘め、ロータリーでの感動体験を地域社会に出て話す事で、公共イメージを向上させ、会員増強につなげよう』と述べられています。そこで私は、クラブの年度テーマを『奉仕・親睦・会員増強 全員参加』としました。その結果、親睦委員さんや増強委員さんが中心となり、夜の作戦会議を頻りに開催する事により4名の増強に成功いたしました。本当に1年間ありがとうございました。



### 60年の歴史を持つ四日市北ロータリークラブを継承する

四日市北ロータリークラブ  
会長 松岡 賢

当クラブは、今年度60周年を迎え、クラブ内外のご協力の元、周年の記念事業を無事に終える事が出来ました。私たちは、歴史はあるものの、現在では会員数が減少して小さなクラブとなっていますが、それでも規模は関係ない、と考えロータリー活動を行っています。

小さい利点を活かしたクラブ運営をキーワードに心がけ行ってきました。柔軟な思考で新しい事に寛容になり、スピーディな意思決定を行いながら、周年事業を契機にクラブ内が一致団結できたと感じ、当クラブの良いメンバー皆さんのおかげです。

今年度は60周年に始まり終わる、という感じでしたが、小さいクラブでもここまで出来る、という事を実感感じ、これからも歴史ある当クラブに於いて引き継がれている様々な奉仕事業についても、規模を言い訳にせず、きちんと継承していきたいと感じました。

バタバタとしている内にあっという間に任期を迎え、不完全燃焼感はあるものの、会員の皆さんに支えられやってくれた事、本当に感謝です！

一年間、ありがとうございました！

**一年を振り返って**四日市西ロータリークラブ  
会長 多田 望

この一年間、田中清平ガバナー補佐様のご指導のもと、幹事や会員の皆様に支えられてクラブの事業が成功裏に終えることを心より感謝申し上げます。

今年度のRI ラシン会長のテーマ「インスピレーションになろう」、木村ガバナーのテーマ「理念をかかげ 意欲を喚起し共に行動」、そしてわたくしのテーマ「暖かい 心で 接する」のもと、会員全員が燦々と輝いてインスピレーションになれるようにとの目的で例会をはじめとするクラブライフをより充実させることに主眼を置きました。その結果会員全員が互いに刺激しあい、より光り輝くロータリアンに進化したことを嬉しく感じます。

**一年を振り返って**鈴鹿西ロータリークラブ  
会長 加藤 稔

『インスピレーションになろう』というテーマから始まった2018～2019年度ですが私の年度も終わろうとしております。

振り返ると、社会奉仕事業では深谷公園での公園利用者の要望による時計台の設置と花壇の整備工事を会員各位の協力のもと執り行いました。また贈呈式には鈴鹿市長のご臨席を賜り滞りなく完了することが出来ました。メディア数社も取材に訪れ、私どもの社会奉仕活動の認知度向上に努めました。職業奉仕、鈴鹿高校においての三重県インターアクト協議会、児童詩コンクールの表彰式、親睦家族委員会等においても会員の皆様のご支援ご協力を賜りました。

来期は創立35周年で節目となる一年になりますので、スムーズにバトンタッチ出来るよう準備したいと思っております。

人間は若いときには家族のために働き、年齢を重ねると社会に奉仕すると言われていますが、私も残り少ない任期、皆さんの協力を得ながら努力していく所存です。

**一年を振り返って**四日市南ロータリークラブ  
会長 松村 武彦

私は10年前68歳で入会致しました。年齢的にもただ入会し、ロータリー活動だけは普通に続け10年間皆出席しましたが、昨年幹事経験のない中、急に会長に推されました。理由は、元ライオンズクラブ会長経験者だからという事で、78歳でどうしても引き受けざるを得なくなりました。

何時も自分では10年若くしようと自分で決めていましたから、引き受けた以上は68歳のつもりで、任期中には会員数37名を40名まで増強し、「例会出席率を上げ楽しい元気なクラブにしよう」と決意し、早や10ヶ月が経ちます。何とか目標は達成出来、特に若い会員とは自分の今日迄の経験を生かしロータリー活動や仕事面等で意見交換し、背中を押して育て、出会いを大切に残り2ヶ月頑張っていきたいと思っております。

**一年を振り返って**鈴鹿ベイロータリークラブ  
会長 平野 泰治

事業の公共性を高め、クラブの認知度向上を活動方針とし、次の事業を実施しました。(1) F1友愛の広場：F1日本グランプリの会場内にブースを設け、全国のロータリアンとの交流を深めました。(2) 鈴鹿ベイロータリー杯少年柔道大会：小中学生の大会を開催し心技体の育成の場としました。(3) 鼓ヶ浦海岸への松の植樹：鼓ヶ浦観光協会、鈴鹿市との共催で、小中学生240人が参加し、卒業記念植樹を行いました。(4) おじさん先生 出張講座：鼓ヶ浦中学校でクラブ会員が職業の喜びや厳しさについて生徒に話しました。(5) 多治見リバーサイドRC・美濃加茂RCと共にグローバル補助金事業としてタイの小学校88校に識字率向上を目的とした事業を実施しました。会員増強は1増1減で純増には至らず反省点となりました。

**一年を振り返って**四日市東ロータリークラブ  
会長 辻 孝

私共のクラブは、「障害を持つ子供」「知的障害者を持つ家族」「両親のいない養護施設のこども達」を対象とした社会奉仕活動「海とのふれあい」を継続事業として行っています。この事業を行うために、行政（こども未来課）をはじめ、会場の提供者、子供たちが乗船する船のオーナー、メンバー以外のボランティアなど、様々な方が関わっています。また、本年度は四日市グループ合同例会を開催させていただきました。木村ガバナー、田中ガバナー補佐をはじめ、たくさんの方のご指導、ご協力のおかげで無事終わることができました。事業すべてが、皆様のご協力によるものと感謝しています。最後に私を1年支えてくださった岡本幹事に深謝いたします。

**一年間を振り返って**亀山ロータリークラブ  
幹事 赤塚 英則

4月10日、亀山ロータリークラブ会長 伊藤 淳彦氏がご逝去されました。

幹事である私が、会長代理として代筆させていただきます。IMのホストを務め、国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」のもと木村ガバナーの卓話、講師の元NHKアナウンサーの渡辺様に講演していただきました。その後、「例会の充実」「奉仕活動の充実」「公共イメージと認知度の向上」の各テーマで意見交換が交わされ、充実したテーブルディスカッションとなりました。

また、毎年1月に開催される亀山大市では亀山市と災害協定を締結している五所川原市のリンゴやシジミの物産品を販売し、亀山高校IACと一緒にポリオ撲滅の募金活動を行いました。4月には鈴鹿・亀山グループでロータリーデーの開催、5月には亀山高校IACと共に亀山公園の清掃奉仕活動を行います。

今後、亀山RCを継続していくためには増強が不可欠です。会員全員が一丸となって活動して、来期につなげて行きたいと思っております。

会長 伊藤 淳彦氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

**一年を振り返って**鈴鹿ロータリークラブ  
会長 小山田 亮

鈴鹿ロータリークラブ会長の大役を賜り、職務を全うしようと努力した一年でありました。早いもので任期も残り僅かになりました。ロータリー活動の原点は「例会」から始まります。例会プログラムの充実を計り、会員間の親睦を深めてより活力あるクラブを目指しましたが、現状として、ホームクラブへの出席率の低下に効果的な対策が打ち出すことが出来なかった事は大いに反省すべき点でした。会員増強については、純増2名以上を目標に会員一丸となって取り組んで頂き感謝申し上げます。会長という貴重な経験をさせて頂き、至らない点ばかりでしたが会員の皆様のご協力と幹事の支えのお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

**一年を振り返って**鈴鹿シティロータリークラブ  
会長 伊藤 晃宏

今年度は、「足元を見据え、元気に行動しよう!」をテーマに活動して参りました。

3年間走り続けてきた当クラブも20周年を迎え、今年度は、各会員の皆様にじっくりと「ロータリーとは?」を考えていただく年度に致しました。

しかし、ベトナムへの訪問(ベトナム奨学基金事業)、1000回例会の開催など各委員長、委員の皆様には、担当例会をしっかり運営して頂き、ただただ感謝致します。

まずは、通常例会こそが中心であり、その枝葉が事業・部活へとバランスよく広がり、大きく育っていくのが永く続くいいクラブであると信じます。今年度、会員の皆様のご支援、ご協力に感謝致します。本当にありがとうございました!

# 2018-19年度クラブ 会長挨拶



## 一年を振り返って

津ロータリークラブ  
会長 黒川 正機

前半は台風の間隙をぬって、ガバナー公式訪問にIMとハラハラドキドキのスケジュール。そんな中で西日本豪雨、北海道胆振東部地震への義援金の寄託、またスペシャルオリンピックス日本・三重への支援物品の贈呈等その都度地元紙で取り上げられ、公共イメージと認知度の向上に繋がった。後半は、辻ガバナー年度に向けての諸活動と2020年3月に迎える70周年記念事業一色。そして締めは、海外交流クラブの台北南區ロータリークラブの50周年及び会長交代式典への参加である。

あつという間の一年であったが、今期RI会長のテーマ「インスピレーションになろう」に少しは近づけたのではとの思いがしている所である。



## 会長の一年を振り返って

上野ロータリークラブ  
会長 本城 高

先ずは、一年の短さを感じております。何をやったのか？と、言われても、新しい事業はやれなかった。と痛感しております。

第一に、会員増強を考えました。増強はクラブの活性化の為には一番です。近年はOB会員のご子息に入会をお勧めしても難しい時代に成りました。又、友達気分でお勧めしても、なかなか結果がでない。以前とは違い地元の事業者が少なく成った事がメンバー減員の第一の原因と推察します。又、進出企業の工場長さんに入会をお願いをすると、本社で入っているの工場までは入れないと複数の方のご返答を頂きました。

多くの方に入会をお勧めをしましたが、思う成果は上がりませんでした。地区で、理念を入れた「入会お勧め書」を作るべきと思います。このような現状から、会員増強委員長の任期を2年間に致しました。これから成果が出るかと期待をしております。参考にして頂けたら幸いです。

又、当クラブの幹事は、例会時間を延長する事も無く、スムーズに進めて頂いた事は、有りがたい事でした。皆さんお世話に成りました。



## 一年を振り返って

名張ロータリークラブ  
会長 中島 滋泰

ロータリー歴22年で、中身については特に考えたことがなかったのですが、会長をさせて頂いたこの機会に一年間しっかりと学習し、ロータリアンらしくなろうと思いつつ自分なりに頑張りました。結論、楽しくなければ輪も広がらず続かないと思いました。

今年度は増強こそできませんでした。出席率は40回の例会中100%が22回以上(前年度は13回)になりました。

また、今年度事業の小・中学校の児童生徒と地域の歴史的な施設を一緒に清掃し、今後は小・中学生で引き続きやっていた活動が新聞等で大きく取り上げられ、ロータリー本来の活動ができたと思っています。

会長年度は終わりますが、今後も一会員として努力することをお誓いし、一年の結びといたします。



## 一年を振り返って

津南ロータリークラブ  
会長 林 裕行

津南ロータリークラブの第53代会長に就任してから、一年が過ぎようとしています。今年度のテーマを、『同じ志をもって みんなで 行動する』とさせて頂いたいただきましたが、歴代会長様と会員皆様により築き上げられてきた「明るく楽しいクラブ活動」を基本にクラブ運営をしてまいりました。そして、親睦と友情を深めるのも例会、奉仕の理念を学ぶのも例会、奉仕の理念が浸透されるのも例会、仲間意識が高まるのも例会、奉仕活動の充実も例会で高められた奉仕の理念に基づくものと理解し、「例会の充実」に努力させて頂きました。

一年を振り返って、ロータリーの原点は、「例会」であると改めて認識させて頂きました。皆様のご指導、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、会長という貴重な体験をさせて頂けたことに感謝いたします。ありがとうございました。



## あつという間の一年を振り返って

津北ロータリークラブ  
会長 楠井 嘉行

会長を拝命してから、あつという間に1年が過ぎました。8月のインターアクト年次大会は、インターハイと重なったため、宿泊施設の確保に苦労しましたが、盛会に終わり、年次大会でインターアクト最優秀クラブ賞を受賞できました。

来年度50周年を迎えます。50名まで会員増強を図る目標を設定し、令和元年6月までに達成できそうです。50周年記念事業は、三重大学大学院医学系研究科小児科学教室の小児ガン研究を支援し、小児ガンと闘う子供たちのためのミニコンサートも行う予定です。

幹事をはじめとする会員皆様のおかげで多くのことを前向きに進められ、鼓舞することができたと思っています。深く感謝申し上げます。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

上野東ロータリークラブ  
会長 中里 芳彦

今年の計画では、会員増強に力を入れて会員の皆様と共に、色々な人との交流を図りましたが、増強がこんなに難しいということを感じました。この行動は、将来年度において実ってくと確信しております。

今年度の事業においても、我がクラブの主たる事業である、外国系高校生の奨学金制度も8年目で卒業生が今年で6名になり、今年度も新しく奨学生が決まりました。新日本フィルハーモニー所属の吉鶴洋一氏はじめ2名の方と共に上野高校吹奏楽部の指導と、伊賀市新庁舎でのドリームコンサートミニを開催し多くの方が来場いただきました。別の事業におきましても、会員のご協力を頂き、地域貢献に寄与できたと自負しております。関係各位・幹事・会員の皆様には大変なサポートを賜り、この一年間を無事に終わらせてもらったことに感謝を申し上げます。



## この一年を振り返って

久居ロータリークラブ  
会長 棚橋 裕

9年ぶりに2度目の会長職を務めさせて頂きましたが早くも1年が終わろうとしています。今年度の会長テーマは、「ロータリーのこころを大切に、ロータリーを楽しもう!」としました。ロータリーの奉仕の理念を大切に考え、様々な奉仕活動を楽しみ元気に実践していきたいと思いましたが、会員全員がロータリー活動を楽しむことができたのかどうかいささか心配です。

昨年の10月にはクラブ発足以来23年余りをかけて1000回という節目の例会を迎えることができました。今後もこれまでクラブが築き上げてきた伝統を引き継ぎ、クラブがさらに進化し発展していけるよう努力していきたいと思っております。1年間の皆様方のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



## 一年を振り返って

名張中央ロータリークラブ  
会長 川村 尚央

名張中央ロータリークラブ川村です。当クラブは会員数23名の少数クラブです。会員が少ない為、他クラブから見るとまだまだロータリー歴の浅い私が会長をお受けするには早すぎるとかと思われます。入会して12年でロータリー経験も浅くロータリーの知識の少ない私が会長職を担うには荷が重く正直戸惑いもありました。いままでは何気なく出席してきただけの私がかんども自分が話す立場になり1年間という長い期間勤めさせて頂いた事になりました。会長職が始まって本当に1週間が早く感じ、気持ちの落ち着かない毎日が続きました。IM、地区大会などの行事が終わっていくうちに少しずつ慣れてきましたが今まで努められて来られたのは幹事初め多くの会員の皆さんに支えていただいたおかげです。残りまだ数ヶ月ありますが最後までがんばって努めさせて頂きたいと思っております。

**一年間を振り返って**

松阪ロータリークラブ  
会長 **長井 雅彦**

この一年間、鈴木幹事はじめ80名の会員の皆様の協力で、事業を遂行する事が出来ました。

会員の皆様 ありがとうございます。

心残りには、熊野でのIMが台風で中止になった事です。残念、。。。。。

私にとって、とても充実した一年でした。

心より感謝申し上げます。

**一年を振り返って**

松阪東ロータリークラブ  
会長 **北 勇人**

昨年の7月の会長就任から今日までは、驚くほど「あっ」という間で、逆に会長就任までのクラブの人事、予算、プログラム概要等の決定までの期間の方が、長く大変だったように感じております。今期の例会での新しい取り組みとして、松阪東ロータリークラブの風土を継承し、感動体験の共有を目的として、歴代パスト会長全員に卓話をさせていただきました。会員増強では、4月22日の時点で、新入会員8名の入会が決定しております。

このように、一年間充実したロータリークラブの活動が実現できましたのも、幹事を筆頭に、理事の皆様、積極的に事業にご参加いただいた会員の皆様、そして事務局員のお陰と、感謝しております。一年間本当にありがとうございました。

**一年を振り返って**

熊野ロータリークラブ  
会長 **山門 弘毅**

大役を預かり、とにかく一生懸命にこの一年を駆け抜けようと挑みました。

大きなミッションの一つであったIMの開催が台風24号の直撃で中止となってしまったことが心残りであります。自分の無力さを痛感しつつも、会員の皆さんにご協力いただき楽しく、今後のロータリー活動と人生において貴重な一年でありました。

ありがとうございます、感謝いたします。

**一年間を振り返って**

尾鷲ロータリークラブ  
会長 **中瀬 幸志**

会長就任に当たって、『より楽しい例会及び奉仕活動を行うこと』を目標とさせていただきました。

例会では、全会員及び外部講師の卓話、会員事業所での例会等をさせていただき、様々な経験をお持ちの方に来ていただくことは、新たな学びと出会いの場、ロータリーを知らない方への最高のプレゼンと勧誘の場となったのではないかと思います。

また、奉仕活動も、清掃活動、植樹、補助金事業、ポリオ募金活動等多くの会員で参加し楽しめたのではないかと思います。今年度は新たに2名の入会があり、今後も多くの会員と楽しい尾鷲ロータリークラブを作り上げていければと思います。

一年間、暖かく見守り支えてくださった会員の皆様に感謝申し上げます。

**この一年を振り返って**

松阪山桜ロータリークラブ  
会長 **越山 明**

あっと言う間の1年でした。任期も後半になるほどロータリークラブのことがわかって来ました。時すでに遅しです!!今回、会長になるまではパスト会長の皆さんからなんでも出来るからと言われていたのですが理解が出来なかつたです。いままでいかに不良会員であったかを反省しています。

半年ぐらい経つてくるとあれもやりたい、これもやりたいと、いろいろと出てきますがすでに事業計画書で年間スケジュールは決定しています。残念です。

でも、幸いにも達成出来そうなものが2つあります。それは会員39名の会社に私自ら訪問し会社概要等13項目に亘り聞きその内容を毎週の例会で発表しました。2つ目はロータリー賞への挑戦です!!それは10月の地区大会が楽しみです。

**一年間を振り返って**

伊勢ロータリークラブ  
会長 **西井 政彦**

伊勢RC第68代会長を拝命してから一年の任期が終わろうとしています。

一年間を通じて地区のテーマの多くは「会員増強」が占めました。ロータリー全体を見渡しても様々な施策を行います、実効が上がりません。新入会員はあるがそれに匹敵する退会者があるというデータを幾度も拝見しました。

主要因に「例会場でロータリーを語る」事が少ないと挙げています。

翻って伊勢RCを見ると親睦活動は盛況でロータリーの醍醐味は十分味わえましたが、例会で「ロータリーを語る」機会は多くはありませんでした。重要な事項なので次年度に申し送りしたいと思います。

会長を拝命し実に楽しい活動をさせていただきました。

**一年を振り返って**

鳥羽ロータリークラブ  
会長 **濱崎 興吉**

創立55周年の会長を務めさせていただきました。クラブ運営を支えて頂きました宮澤幹事はじめ、クラブ会員の皆様に心より感謝申し上げます。

持続可能な活動を続けていくため、今期の鳥羽ロータリークラブは「理念は時代の要請に応え」～共に学び、共に気づき、共に行動～というテーマを掲げました。

創立55周年記念事業として、鳥羽市民の森公園のガリバー遊具の修復及び周辺の整備、小型遊具2基を配備し、近年子ども達がゲーム等で家に籠る改善として、野外で健康的に遊び家族や友達との絆を育み、未来の子ども達の健やかな成長に貢献できればと考えました。

また、小学生を対象にした「インターナショナルだよ!鳥羽の子ども達」と、中学生を対象にしたキャリア学習支援「未来の仕事を考えるワークショップ」も継続し、鳥羽ロータリークラブは将来の社会を担う子ども達の成長を様々な角度からフォローできる社会奉仕活動を推進しています。

そして、景観整備として城山公園に桜、梅、もみじの植樹を行いました。ロータリー会員で今後も剪定・追肥等の奉仕作業を続け、ロータリー活動の認知度の向上に努めていきたいと思います。

**一年を振り返って**

伊勢南ロータリークラブ  
会長 **山本 典**

本年度国際ロータリー会長 パリー・ラシンさんのテーマ、インスピレーションになろう、そして地区ガバナー木村静さんの本年度テーマ、理念をかけた 意欲を喚起し 共に行動を私なりに理解し、「ロータリーを深め、楽しみ、高めよう」を目標としました。増強にも力を入れ、若い会員のネットワークも使い、お花見例会でロータリーナイトを開催し多くのゲストに参加していただきました。通常の例会ではありませんが、当クラブの雰囲気を感じていただけたと思います。結果、本年度は男性1人、女性3人の入会を得ました。このことは、必ず次の増強、またクラブの活性化につながると確信しています。

大きな成果でこの一年を終わることが出来大変嬉しく思います。

クラブのメンバーには心から感謝します。

# 2018-19年度クラブ 会長挨拶



## 一年を振り返って

志摩ロータリークラブ  
会長 劔山 啓助

「楽しもう！コミュニケーション」  
これを今期志摩ロータリークラブのテーマとしました。様々な価値観を持つ会員の皆さんにクラブを通じて常識よりも良識で考え、交わろうという一つの解決策を導くテーマです。

有難いことに当クラブは女性会員も多く和やかで明るく活発な素晴らしいクラブです。会長としての煩雑な役目も無く各委員会や行事が正確にスピーディに担当者により進められました。

何事につけても、クラブ会員の自主的な行動と人を思いやる姿勢が円満で円滑な運営をもたらしています。

当クラブの素晴らしい伝統と気質がこれからも受け継がれて行く事でしょう。



## 一年を振り返って

岐阜西ロータリークラブ  
会長 杉山 裕明

岐阜西ロータリークラブ第59期会長を務めさせていただいて、はや10ヶ月がたちました。本年度のクラブターゲットを『協調』とさせていただき、先輩会員、新会員と和やかに活動できるロータリーを目指しました。8月には我がクラブの大きな事業である、韓国天安ロータリークラブへの青少年派遣があり、討論・懇親会を開催し、日韓の青少年交流を図りました。毎週の例会にも新会員、先輩会員による会員卓話を取り入れ、会員の団結を図り、和やかな例会ができたと思います。また、社会奉仕として、美江寺公園の早朝清掃奉仕、ロータリーの森 桜の園の清掃奉仕を行いました。4月には親睦例会として春の高山祭・下呂酒蔵見学を開催し新旧会員の親睦を図りました。残り2ヶ月となりましたが、まだまだ不十分な会員増強に力を入れ職務を全うしていきたいと思っております。

一年間ありがとうございました。



## 一年を振り返って

伊勢中央ロータリークラブ  
会長 小切間 鉄郎

会員の方々の御協力により、会長としての18-19年度を終えようとしています。会員の方々に、どのような「ロータリーとしての一年」と感じていただけたのか少し不安で、いたらない所はお許ししたいと思います。

今年度、通常の行事に加え、今後の伊勢中央RCにとって、大きく変化していくであろう出来事があり、そのゴールを目指しゴールの向こうにある将来の伊勢中央RCのための、スタートラインに立っている状態です。今後我々のクラブが、ひるむことなく、受けて立ち素晴らしいクラブであり続けられるため、スタート準備のいい年度であったと感じられればと思っています。自分自身も、今後も、受けて立ちたいと感じています。

ありがとうございました。



## 一年を振り返って

岐阜長良川ロータリークラブ  
会長 北川 伸

平成最後の年度の会長を一年間務めさせていただきました。本年度の当クラブの具体的な事業は、1. 姉妹クラブの韓国の安東RCとの夏期交流学生相互訪問 2. 夜間例会の回数を例年より増やし会員同士の更なる親睦を深める 3. 継続事業の「日本児童育成園乳児ホームまりあ」への支援 4. 岐阜長良川RC創立50周年メモリアル奨学金を岐山高校と県立岐阜商業高校へ25万円ずつ授与する。又、職場例会にて浜岡原子力発電所を見学して参りました。

本年度の会員数は目標より少なく、1名だけ増でしたが、退会0の目標はなんとか達成することが出来ました。何かと例会を休む回数も多かったと思いますが、山本副会長、杉本幹事、理事、役員の皆様並びに会員の皆様のご助力を賜りまして一年間乗り越えることが出来ました。本当に有難うございました。



## 一年間を振り返って

伊勢度会ロータリークラブ  
会長 加藤 貴士

今年度は例会の方法に色々工夫をしてみました。席次の決め方も毎回テーマを持ち、なるべく会員同士がお互いを知る機会を作れるようにしました。回数も基本月3回にしましたが、夜の例会を月に1回し、時間を90分にした為に、例会タイムとしては月4回の時と同じ時間をキープ出来ました。事業としては、身体障がい者野球チームを三重県に作るプロジェクトをメイン事業とし活動しました。活動内容はNHK、三重テレビ、地元ケーブルテレビ、中日新聞、市の広報誌など多数取り上げられ、公共イメージの向上ならびにクラブの広報としては成功したと思います。会員増強は出来ていませんので、次年度の課題として引き続き活動していきたいです。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜北ロータリークラブ  
会長 小泉 宣昭

私の重点テーマは、「会員の拡大と奉仕活動に積極的に参加」でした。3年後の40周年を迎えるまでに40名以上となるよう会員増強を目標に掲げました。

夜間例会、食事を積極的におこない、今期8名の入会を達成することが出来、そのうちの2名女性会員を入会させることが出来ました。また、今現在2名の入会予定者もあり、6月末までに入会して頂けるととても有り難いです。

これも、皆様の積極的な勧誘活動をしたおかげで、とても嬉しく思います。

奉仕活動も夏のキャンプ、クリスマス会、岐阜北バレーボール大会、献血例会など、会員の積極的な参加により盛り上がり、献血者もいつも3人程度だったのが、8名献血することができて、赤十字社の方からも大変喜ばれました。

これも、副会長、幹事、各役員と会員の皆様を支えて頂いたお蔭です、感謝申し上げます。



## 一年を振り返って

岐阜ロータリークラブ  
会長 溝口 博司

昭和10年4月に国内で17番目のクラブとして設立され84年目を迎える岐阜ロータリークラブの会長を拝命してからはや1年近く経過し、いよいよ残りあと少しとなりました。

当クラブでは歴代の会長がそれぞれロータリーの信念に基づいて事業を企画して来られ、私としてもそれら数多くの事業を着実に継承するだけで精一杯だったというのが実感です。それでも私は、木村ガバナーから「例会の大切さ」を指摘いただいたことを踏まえて例会が毎週お互いの情報を交換し合う楽しい時間になるよう、できるだけ例会での席替えをお願いしたり会長挨拶で時季に即した幅広い話題を取り上げたりといろいろ工夫させていただきました。



## 一年を振り返って

岐阜中ロータリークラブ  
会長 長井 義夫

早いもので残り期間3カ月を切りました。もう、そんな時期なのかと思い、振り返ってみたいと思います。今期のRIのテーマ「インスピレーションになろう」を受けまして、今期はどのようなことができるかを考えて計画いたしました。新しくできること、継続すること、会員増強、この3つが重要だと考えて行っておりました。国際奉仕活動では、国際奉仕委員会メンバーとフィリピンに行ったこと、青少年奉仕委員会では昨年に続き「岐阜中RCポリオチャリティーカップ少年サッカー大会」を開催できたこと、数名の新会員に入会いただけたことなど思い起こされます。引き続き、次年度の大橋会長にしっかりバトンタッチをしてまいりたいと思います。



**一年を振り返って**

岐阜南ロータリークラブ  
会長 近藤 大樹

長いようで短い1年でありました。自身、たいへん力不足でしたが、会員各位や地区の皆様へ助けられ、何とか任期を終えようとしています。今期のクラブターゲット「ロータリーで語ろう」は会員各位のご協力により、おおむね達成出来たように思っています。事業では青少年奉仕を重点目標と位置付け、IA および RA そして地域の市民を巻き込んだイベントを意識して実施しました。故竹腰兼壽パストガバナーが最後に残された「ロータリーは一つの家族である」「クラブは奉仕をするための団体でなく、奉仕をする人びとの集まりである」などの言葉を時々思い起こしながら今後の活動に繋げて行きたいと思えます。

**一年を振り返って**

岐阜エトスロータリークラブ  
会長 見田村 勝信

今更ながら、一年のあまりの速さに驚いています。しかし振り返ってみると、いろいろなことが思い返されます。地区大会やI・M等で木村ガバナー様や、近藤 AG 様ほかの多くの皆様方のお話をお聞きする中で、印象に残ったことや、多くの出会いを得られたことなどです。

また当クラブでも、毎週の例会やクリスマス会等、多くの楽しいことがたくさん思い返されます。その中で言えることは、若い人の活力が着実に芽生えてきたことです。まだまだ小人数のクラブですが、この力が当クラブの発展の礎になるものと確信しています。特に次年度は当クラブが幹事クラブになります。大いに期待していただきたいと思えます。

**一年を振り返って**

岐阜東ロータリークラブ  
会長 渡辺 敏昭

今年度クラブのテーマは「ロータリーを楽しく」として例会が楽しく意義ある例会となるよう努め早朝例会では瑞龍寺にて座禅会、金神社では家内安全商売繁盛を祈念し、岐阜城ロータリークラブとの合同例会では落語を披露して楽しんでもらいました。今年度クラブの重要な事業としてR財団地区補助金を受けての更生保護法人「洗心之家」にパソコン五台を寄贈して全会員の協力で技術指導により再就職の支援活動、また我がクラブ独自の事業として片親家庭の高校生への奨学金の支援金を今年四月から、十二万円を年二十四万円に引き上げました。今年度のクラブの事業は会員の理解と協力により順調に行われました。ただ問題は会員増強について純増五名の目標が現在三名増の二名退会となり今後とも増強をクラブ活性化のためにも全員の協力により進めたいと考えています。

**一年を振り返って**

岐阜城ロータリークラブ  
会長 澤田 憲政

例会初日、お願いした事は、少人数のクラブゆえ何を行うにも、全員が、何役も引き受けなければ難しい、更なる協力をお願いしますと、話した事です。前年度から、会員増強を合言葉に、候補者の方に卓話をお願いしたり、例会日に、招待したりと、会員相互が、情報を共有しあって頑張ったのですが、中々達成出来ず、25周年記念事業日はどんどん近づいてくる。お城名クラブの交流会も翌日の4月21日に決めた為、まずは事業開催に専念。結果、増強はならず会長としての力の無さを痛感した。が、少人数のクラブなればこそ、お互いの信頼感がさらに、堅固になった。職は離れても、増強に努めようという決意。皆様へ感謝とお礼の念込めてベンを置きたいと存じます。

**一年を振り返って**

岐阜東南ロータリークラブ  
会長 古田 聖人

今期は当クラブが幹事を務めた「IM・合同例会」、地区補助金を使った「バドミントン交流会」など、大きなイベントや新規事業などに積極的に取り組みました。

「バドミントン交流会」では元オリンピック選手らが幼稚園児から中学生までの約100人の参加者らに技術指導を行うなど、地元選手の育成に大きく貢献できたと自負しております。

一方で例会の出席率という点では課題も残りました。当クラブは、働き盛りの若い会員が多いせいか、仕事と例会出席との両立が難しいと感じました。

平成から令和という時代の変革期に会長を努めさせていただいたことは、私にとっても貴重な経験となりました。ご協力いただいた会員および関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

**一年を振り返って**

大垣ロータリークラブ  
会長 黒川 善栄

大垣 RC という伝統あるクラブの会長を一年間やらせていただきました。まずは理事、役員、各委員会の皆様方に深い謝意を表したいと思えます。正直に申し上げますと私自身はロータリーの何であるかをそれほど知らなかったと感じております。この一年間はほんの一部かもしれませんがロータリーのことを知ることができました。

頼りない会長の元、周りの皆様方に熱心にロータリー活動を実行していただきました。

ロータリーンとして重要なことは社会奉仕、多職種の方々による親睦であります。

あまり堅苦しいことを語らず、社会に受け入れてもらえるロータリーこそ真のロータリーだと考えております。そうすることによって魅力的なロータリーになり質の良い会員増強にもつながると考えております。一年間御協力をどうもありがとうございました。

**一年を振り返って**

岐阜加納ロータリークラブ  
会長 野田 尚広

今期岐阜加納ロータリークラブは創立42期目で初めてガバナー輩出クラブとなりました。

10月13日、14日の第2630地区大会ホストクラブとして、村瀬洋介地区大会実行委員長を中心に全会員で木村静之ガバナーをバックアップし地区大会の準備をしました、1600名余りの多数の参加を頂き感謝申し上げます。

地区大会で、RI会長賞、ロータリー財団表彰の表彰を頂きました。これからも奉仕の志を会員と共に楽しみ活動して行きたいと思えます。

今期は9名の新会員が入会し会員増強がよく出来ました。中期目標に沿って新会員の研修を5回実施することが出来ロータリーを少しでも早く理解してもらおう事が出来たと思えます。

会員皆様の協力有難うございました。

**今期を振り返って**

大垣西ロータリークラブ  
会長 安藤 光男

今期会長としての1年を今振り返るとあっという間で、自分が大垣西ロータリークラブの会長としてどんな運営をしてきたか自問自答してみました、たいした実績は思い浮かびませんでした。楽しい例会運営をしたい、会員同士の親睦を深め明るく参加しやすいロータリークラブにしたい。会員増強に努め会員基盤を固め近づく60周年に向けて盤石なクラブにしたい。こんな思いがやってきました。目に見えて結果が分かるのは会員増強の実績だけですが、まずは退会防止、今期はやむを得ない事情で3名の退会がありました。目標としていた会員数に近づけることができましたので、これは多くの会員が同じ思いとなって喚起していただけた結果だと思います。

次年度以降もこの思いを継続していただきたいと思えます。皆様のご協力大変ありがとうございました。

# 2018-19年度クラブ 会長挨拶



## 一年を振り返って

本巣ロータリークラブ  
会長 桑原 脩

今年度クラブ会長テーマを「共に取り組み、共に成長する」としました。今こそ結束する事の重要性を必要と考えました。そんな中、昨年の9月11日には国際ロータリー第2630地区岐阜西濃グループ、ガバナー公式訪問、IM・9RC合同例会のホストクラブとして全員の力で結束する事で成功を成し遂げる事が出来ました、正に共に取り組む事の成果かと自負しております。そして4月には本巣ロータリークラブ主催のダンスフェスティバルでは地域の沢山の応募と沢山の観覧客で地域社会に対し奉仕プロジェクトの成功と最後に、共に成長するを主としたテーマの充実を感じる1年でした。皆様には本当に感謝の一言に尽きません。有難うございました。



## 一年を振り返り

大垣センチュリーロータリークラブ  
会長 松岡 英明

今年度、会長職という大役を務めさせていただきましたが、勉強不足であった私が、1年を全うできたのは幹事はじめ役員、会員の皆様のおかげだと感謝しております。当クラブは、今年30年を迎えます。創立以来チャーターメンバーが中心となり楽しくぎっくばらんなクラブとして、すでに柱となる事業が確立されておりますが、現在はチャーターも4分の1以下となり構成メンバーも大きく変わりました。今後のクラブの活性化に向けて、初心に戻りクラブの在り方を考え直す機会となりました。私にとりまして、この1年は、他に代えがたい学びの経験となり、当クラブや会員の素晴らしさを改めて再認識させていただくものとなりました。有難うございました。



## 一年を振り返って

羽島ロータリークラブ  
会長 林 秀樹

羽島ロータリー創立51年目を引き継がさせていただきました林秀樹です。前期末から今期にかけては、退会者と新会員が大きく動いた激動期でした。現在は、総会員数32名中、入会1年以内の会員を9名抱えることとなっています。新会員には、I・D・Mによるロータリー情報の研修を繰り返し実施するとともに、夜間例会等への参加を促し、いかにしてわがクラブに定着を図ることができるか！会長としては、日々このことで頭がいっぱいになっています。このような状況ではありますが、今期の活動に関して言えば、会員皆さんの協力の賜物で、順調に進行させていただくことができました。この場を借りて御礼申し上げます。



## 一年を振り返って

岐阜淡墨ロータリークラブ  
会長 上坂 行雄

今期、岐阜淡墨ロータリークラブは、創立27周年を迎える事になりました。我がクラブは、第2630地区岐阜西濃グループ9RCの中で、残念ながら一番少人数クラブです。会員数14名という、運営上非常に厳しい状況にあります。そんな中、来期にはガバナー補佐を当クラブより輩出することになりました。次期ガバナー補佐に思いっきり活動して頂くためにも、何が何でも増強をと、「ドリーム20(会員20名)」を今期の目標としてきました。残念ながら現在増員無しの状態が続いておりますが、残す5月、6月にはHOT情報もあり、会員増強の手ごたえを感じています。少なくとも2名~3名は何とかして達成したく、八方手を尽くしている状態です。現状14名と言う少人数クラブではありますが、7月には「淡墨公園の地元中学生と共に清掃」、10月には「幼児療育センターへロータリー文庫やおもちゃの寄贈例会」3月には「真桑文楽子ども浄瑠璃鑑賞例会」などを行っています。海外では、双子クラブである台湾の彰化東南扶輪社との相互訪問など親睦を図っています。国内では、三重県の姉妹クラブの松阪山RCとの相互訪問例会などを通じ、相互交流を図っております。「小さくても光り輝くクラブ運営」をスローガンに、会員同士の連帯感の向上、出席率100%、いろいろな奉仕活動に「さすが淡墨」と言われるよう努力してまいりました。今後とも皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



## 一年間を振り返って

不破ロータリークラブ  
会長 鹿野 充夫

将来の老後のために、何か楽しみを見つけないかと、軽い気持ちで会員になったのがいつの間にか年数がかさみ、会長をやることになってしまいました。やるからには、みんなのためにと、自分自身最大限の神経を使ったつもりでしたが、心配することはなかったのです。それ以上に皆が勝手に動いてくれていました。これがロータリークラブのいいところでもあり伝統なのだと思います。1年間を振り返って、こんな私でもそれ相応の対応をしてもらい1年間を終えたことに非常に満足し、感謝しています。ありがとうございました。



## この一年を振り返って

岐阜サンリバーロータリークラブ  
会長 石川 晴代

あつと云う間の1年でした。会長職を渡っていた私に来期は「周年事業は何もないし、幹事をしたらなるべく早く会長の方がいいよ。いずれやらないかんからね。」と前会長に勧められ、ついその気になった私です。不安の中での石川丸の船出でしたが、皆さまのご協力とご支援のもとに会長職も残り2か月余りとなりました。「奉仕の理念をみつめ共に行動する。」をテーマに出発した途端、例会会場がその年の秋に取り壊される事になり、まず移転先探しについて話し合う日々でした。お蔭さまで無事決まり現在に至っています。幾つか基本方針をあげましたが、その中の一つ、地元の海洋明誠高校のインターアクトクラブとコラボしてこれ地元の産業感謝祭にボリオ機謙キャンパンのブースを出展しました。地区R財団ボリオ・プラス小委員会から故金(かろがね)委員長さんも会場に駆けつけて下さり、短時間で5万円以上の募金が集まり、クラブとして、初めての事業でもありロータリー活動の素晴らしさをPRできたと思っています。その他、岐阜淡墨RCさんとの初合同例会も致しました。このように新しい事業に取り組みましたのも、いつも出席率100%に近い会員の皆さまの暖かいご協力とバックアップのお蔭と感謝一杯です。1年間大変でしたが、台北城中RC、鹿兒島東RCなどの交流と貴重な経験をさせて頂き本当に有難うございました。しかし「会員増強」女性会員1名につきましては力及ばず申し訳ありませんでした。来期はどうぞ宜しくお願い致します。改めまして、1年間有難うございました。



## 一年を振り返って

大垣中ロータリークラブ  
会長 細井 一

2018年~2019年度大垣中ロータリークラブ会長という重責を与えていただき、また35周年という節目に当たり、お引き受けしたものの私に最後まで全うできるかと、不安一杯でした。長かった1年間も最後の平成の時代、新しい令和時代を送り迎え、ようやく終わりを迎えることになりました。私を1年間支えていただいた稲川幹事、副会長、S.A.A.理事の各委員長、会員各位の皆さま、事務局の方々が必要として支えて下さったお蔭で今日の日を迎えられたことを心より感謝申し上げます。1年間を振り返ってみますと、方針として例年より例会を減らし3回として、第3金曜日、第5金曜日は休会としました。創立35周年記念式典はクラブ内のみとし、中身の濃い夫人同伴記念夜間例会にしました。極力年会費内で各事業を進める、新会員増強と90%以上出席率を目標として各委員長に活動計画の立案をお願いしました。結果今期出席率100%が3回、新入会員11名というたくさんの方に入会していただき、大変うれしく思っています。また、中ロータリーが推薦したグローバル奨学生「織田夏実様」の奨学金が決定されました事、各関係者様にお礼申し上げ感謝いたします。この1年間多くの会員の皆さまのお蔭で終了できます事は最高の幸せです。締めくくりにあたり再度皆様方にお礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。



## 一年を振り返って

多治見ロータリークラブ  
会長 河人 正道

「ともに極める」というクラブテーマで始まった63期ですが皆様の協力のもと多くの事業を行なう事ができました。昨年、わが師、南禅寺派管長香南軒老大師に相見したおりに、布施の実践はしておるかたずねられました。布施というと仏事に際してお坊さんに差し上げる品物のことを思い浮かべますが本当は「他のために行動して見返りを求めないこと」つまり「社会に報いるという事は、受け取るのではなく捧げ続けること」だと説かれました。これはロータリーの理念(思い)と同じだと気づいた次第です。一年間大変お世話になり本当に感謝申し上げます。

**一年を振り返って**中津川ロータリークラブ  
会長 田口 義也

1年は早いものです。昨年7月にクラブ会員皆様のお陰で出港させて頂き、クラブテーマ「職業奉仕で育むロータリーの和」としてスタートしました。地区補助金を活用した社会奉仕事業、市内小学校18校への備品等転倒防止対策も7ヶ月間、総動員数280名という大がかりな事業となりましたが、ロータリークラブの認知度向上に繋がりました。また、継続事業として13年目となる職業奉仕事業、市内中学校への出前講座も地域社会へのインスピレーションへと繋がり、クラブ会員のロータリアン魂を感じる事が出来ました。そして会員増強3名を確保することが出来たこと、会員皆様のご支援ご協力無しに会長は務まらないことを痛感した一年間でした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

**一年を振り返って**瑞浪ロータリークラブ  
会長 松井 啓至

先ず初めに間もなく会長職の終盤を迎えるにあたって、会社の社員や家族の理解と協力があつたことは勿論、クラブ会員の皆さんのご支援があつたことと感謝しております。瑞浪クラブは会員の年齢も幅広く平均的に構成され大変まとまりも良いため、本当に楽しくクラブ運営をさせて頂きました。昨今柔軟なクラブ運営が認められる中、IDMでこの内容についてご意見を伺ったところ、「これまでの運営規定に基づいて行くべきで、決してハードルを下げる必要はない」とのことでした。このことは一年間クラブを預かる私としては大変心強い確かな運営指針となりました。楽しく充実した例会を求めて夜間例会や移動例会を増やしたことも好評だったと思っております。次年度60周年を迎えるにあたって、「60周年記念には60名の会員でお祝いしよう」をテーマに会員増強を最優先課題としてまいりました。お陰で今年度は純増2名を達成できました。これまでの課題や目標に対応する瑞浪クラブのポテンシャルの高さに敬意を表しながら、一年間縁の下で支えて頂いた幹事に心より感謝したいと思います。

**一年を振り返って**恵那ロータリークラブ  
会長 藤下 和也

今年度の我がクラブは「誇り高きロータリアンになろう」というテーマを掲げ例会を中心にいろいろな形でまずはロータリークラブをよく知り、理解する事に重点を置いて活動してまいりました。世の中の変化や社会情勢の変化の中で、ロータリークラブも世代交代を繰り返す、時代に即した変化をして来たものと思います。当クラブに於いても57年間の歴史と、その責務や役割を常に頭に思い浮かべながら、114年の不変の理念としての「職業奉仕の理念」の理解を深める為、若い会員に向けてその理念を伝えようと毎回の例会での会長の時間で伝えてまいりました。クラブ内での教育プログラムに十分な時間が取れず、2～3年かけて理念をしっかり理解し、常にロータリーパッチを付け、自信を持って、胸を張って行動できる「誇り高きロータリアン」になってほしいと願っております。

**一年を振り返って**土岐ロータリークラブ  
会長 大木 重正

第58代土岐ロータリークラブの会長に就任しまして、テーマ「気遣い・気配り・思いやり・・・そして友情」を元にコミュニケーションを計り、誰も退会しないで継続できるロータリーにする為に、地盤固めに注力しながら増強をして、80代・70代・60代・50代・40代・30代の幅広い年代層の当クラブを、若い人中心に活動できるクラブに進めてきました。

その成果は、若い人の活発な意見行動に、今後のロータリー活動がより一層楽しい事となると感じます。

当クラブの各行事は、例年より盛大かつ次に繋げる様土台作りもしてきました。財団の寄付も一人当たり150ドルに達成し、増強は2名ですが今後に期待でき、フライングディスク大会では、インターアクトクラブの協力も頂きより盛大に開催でき、関係者に感謝致しました。

**一年を振り返って**多治見西ロータリークラブ  
会長 齋藤 明

今年度の他クラブとの合同例会の当番は、何故か、3年に1回と5年に1回のはずが、廻り廻り重なり、2つとなってしまいました。

ガバナー訪問3クラブ合同例会と、3市5ロータリークラブ合同例会です。ガバナー訪問3クラブ合同例会につきましては、会長就任後すぐと言う事もありましたが、ガバナーをお迎えし、何とか無事終了いたしました。3市5ロータリークラブ合同例会は年明けの3月の為、場所だけ確保し、のんびりし、何もせず年が明けてしまいました。焦りました。来賓のお願い・例会の冊子作り、進行・食事手配等忙しい準備があり、出来るのかなど心配でした。ですが、当クラブ会員の皆様の本領を発揮し、てきぱきと決め・手配し、あっという間に準備が終了しました。この時はビックリ致しました。無事終了し、改めてメンバーの方々の方がたさが分かりました。素晴らしいメンバーであり、誇りに思います。

いたらない会長を1年間助けて頂き、また盛り上げて頂き、誠に有難うございました。

**この一年のこと、心から感謝**中津川センターロータリークラブ  
会長 浅井 達雄

1年を振り返るとき、最初にうかぶ言葉は「感謝」という言葉です。私の一年は7月に発症した「くも膜下出血」でスタートしました。発症時点では二人に一人はなくなるという恐ろしい病気ですが、私の場合、8月末には後遺症もなく退院、11月に復帰しました。この間、多くの皆様のお世話になりましたが、副会長、幹事には殊の外、負担を強いることになりました。

クラブのテーマは「郷土への愛と連携 国際理解と女性活躍」でした。11月に地元では初めての試みとして、外国人(米山奨学生)によるお国自慢の授業を小学校の5年生を対象として実施、各紙で紹介されて、ロータリークラブのVisibilityを向上させることができました。

また、5月には地域の課題解決を目指し、地区補助金を得て、地元自治体や大学と共催で「地域創生フォーラム2019」を開催、好評裏に終了させることができました。これもひとえに関係各位の理解と協力あつてのことでした。

今、ここにこうした報告ができること自体、感謝の気持ちでいっぱいです。この1年、ありがとうございました。

以上

**今期を振り返って**多治見リバーサイドロータリークラブ  
会長 水野 鉄治

会長職を受けてから一年間のクラブ方針を「異業種交流から職業奉仕へ」と決定し、7月1日より粛々と実行して参りました。省みますと、基本方針に沿った例会、IGMでの議論など、全メンバーにとって職業奉仕を深く考えること、さらに自分の職業の中でより実践的に行動して効果を上げることをねらい行ってきました。結果は個人の内にあります。

次に社会奉仕では、当クラブ 水野五郎 AGの企画したテーマ「地球温暖化」を東濃グループIMとして開催し、一般市民にも声をかけました。

又、青少年奉仕、国際奉仕では多治見西高校IACと米山奨学生、交換留学生、春日丘高校IAC(第2760地区)を交えての国際文化交流事業を開催しました。

今後益々これらの奉仕活動を充実させるべく、多治見リバーサイド会員一丸となって頑張って参りたいと思っています。

**一年を振り返って**美濃ロータリークラブ  
会長 古田 博規

会長を務める事と成り不安でいっぱいでしたが、会員皆様に助けられ改めて感謝いたします。

会長エレクト研修セミナーの「PETS」を始め、会長としての研修会に出席してきました。其の会に出席する度にロータリークラブの偉大さを改めて痛感しました。

今年度は米山奨学生世話クラブとして出身はバングラデシュで岐阜大学の大学院生を受け入れ、身近に奨学生と接することで国際平和、米山奨学生について一層の理解が深まったのではないかと考えています。

新たな活動として高校生を対象としたHUG体験(避難所誘導ゲーム)の実施、年末には高校生とのミニ門松の販売とポリオ撲滅のための広報と募金活動を行いました。

私自身ロータリーに対する認識、理解も不十分で勉強しながらの1年でしたが先輩方の温かい助言や会員の皆様の理解とご協力により無事務める事が出来ました、心より感謝を申し上げます。

# 2018-19年度クラブ 会長挨拶



## 一年を振り返って

各務原ロータリークラブ  
会長 河野 春男

伝統ある各務原ロータリークラブの会長を仰せつかって一年が経とうとしています。当クラブの会員は経験の浅い若い会員が多く、昼間の例会は出席しにくい状況でしたので、第1例会を除いて夜間に例会を開くこととしました。そして、参加意識の向上のために敢えて若い会員に委員長を任命し、経験豊かな先輩方に副委員長として補佐をして頂きました。先輩方にはご理解とご協力をいただきまして深く感謝申し上げます。

結果として出席率の向上には到りませんでした。今まで出席出来なかった会員が出席したり、新任した委員長がそれぞれの役割を果たしていただいたことは、一つの成果だったと思います。これまでご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



## 一年を振り返って

関ロータリークラブ  
会長 加藤 浩二

本年度、関 RC のテーマを「活動しよう、情熱を持って」として1年間の活動を計画しましたが、最初の事業は災害ボランティアでした。会長就任1日目に7月豪雨に見舞われ私達の地域は近年経験のない被害に遭いました。今まで「災害に強いまちづくり」を目指し、組織として学び、個人でも備え、時には行政に意見し、自分なりに、災害に対しての備えと知識を持っていると思っていました。しかし私達の地域が災害にあった時、その備えと知識は無に等しかったと思いました。今年度、卓話に防災に関する内容を盛り込みましたが、これからも防災には意識し続ける必要があると学べました。災害ボランティアを含め計画の無かった事業も数多く行いましたが、全て充実した事業でした。この全ての事業が情熱あるスタッフ、メンバーの協力があったからこそできました。関 RC の皆様に感謝申し上げます。



## 一年を振り返って

郡上八幡ロータリークラブ  
会長 林 健吉

伝統ある、郡上八幡ロータリークラブの会長を受けることになり、不安と心配で悩みましたが、とりあえず自分の出来ることをしっかりやろうと、自分に言い聞かせスタートしました。最初に、会長の方針として、まず、一つ目は、例会を少し減らし、例会、そして次回の例会が待ち遠しく思えるプログラム構成、二つ目は、会員増強で、ロータリーの素晴らしさ、例えば、入会して生涯の友と出来る例会であったり、ボリボリの機織推進、世界の遠くに学校を作ったり、水道を譲ったり、トイレの設置などの支援、そして奨学制度で青少年の育成事業等々、ロータリーの偉業を地域に発信して、ロータリーのことを少しでも知ってもらって会員増強に努めたいと思いました。そして、三つ目は、今年度我がクラブが50周年を迎えることで、大変な年に会長があたりましたが、幸いにして、当クラブには、実行委員長をはじめ、素晴らしい人材が揃っているで、50周年の記念事業、及び記念式典も無事終えることになると思います。記念事業は、昨今多発する自然災害や交通状況等の情報発信を通じて安心安全な地域づくりに寄与することを目的に、郡上市に電光掲示板を寄贈しました。

当クラブは、継続して青少年育成事業に力を注いでおり、地域の少年野球大会、少年柔道大会、郡上八幡少年サッカークラブ、八幡中学校吹奏楽部等々への支援を行っておりますが、今後も続けていきたいと思っております。そうすることによって子供たちにロータリーの名を身近に感じてもらい、将来ロータリーに関わってもらえれば幸いです。この一年を振り返って、思うことには、役員選任に間違いはなかったと感じております。それぞれの担当をしっかりとこなして頂き、未熟な会長を全会員で大きく支えて頂きました。特に幹事は大変お世話になりました。皆さんのお陰で大きなトラブルもなく無事会長職を務め終えることができました。

終わりにになりましたが、私たち会員がロータリー活動を続けておられるのは、なんといっても家族の理解、特に奥様の協力のお陰であると改めて感謝申し上げます。

郡上八幡ロータリークラブの更なる発展と、合わせて会員とご家族さまのご健康、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。会長としてのお礼の挨拶とさせていただきます。



## 一年間を振り返って

関中央ロータリークラブ  
会長 波多野 篤志

今年度のテーマを「自ら行動するロータリーへ！」とし、1年間活動しました。

初めて、財団の補助金を使って、一人親家庭の子どもたちを名古屋市科学館に連れて行き、プラネタリウムや科学の世界を体験してもらいました。

又、米作りや新米の配布をすることによって、地域の社会問題に貢献することが出来ました。

通年事業である、台湾の南隆 RC との交換学生事業も行い、小学生から高校生まで幅広く地元の子どもたちに支援でき、充実した1年間を過ごせました。

会員増強を考える上には、魅力あるクラブ作りが大切だと思ひ動きました。

今後とも地域のためになり、会員一人一人のロータリーライフがより充実するように続けたいと思ひます。



## 一年を振り返って

郡上長良川ロータリークラブ  
会長 美谷添 里恵子

早いもので郡上長良川ロータリークラブの41期の会長を務めさせていただき、一年が終わろうとしています。入会8年足らずの知識も経験も浅い私のようなものが、初の女性会長として何とか大任を果たせさせていただきましたこと、ひとえに会員の皆様のお力添えの賜物と心から感謝申し上げます。今期は、我がクラブの節目の年でした。創立40周年記念式典と祝賀会を昨年10月28日に開催いたしました。今期のテーマを「驚こう未来へ」サブテーマとして(心に残る40周年記念式典をみんなの力で)を掲げて、会員の皆様またご家族の方々がその具現化に最大の力を発揮してくださいました。記念式典は40年という長い歴史を大切に、祝賀会は駆け付けてくださったお客様を心からのおもてなしをすることができました。それぞれ感動的な素晴らしい会が開催できたのではないかと満足しています。一つの目標の達成のため、クラブ会員全員が一致団結し、心が一つになった瞬間でした。私たち郡上長良川ロータリークラブ会員の絆がますます深まり、友情の輪が広がったそんな一年だったと思います。私の人生においても、この一年はかけがえのない素晴らしい年となりました。お世話になった皆様本当にありがとうございました。



## 一年を振り返って

各務原中央ロータリークラブ  
会長 堀部 伸雄

本年度はクラブ創立30周年もあり、如何に各務原中央 RC 活動を社会の人々に知ってもらい、その活動認知により、ある意味での会員増強に繋げたいとの思いでスタートしました。マスコミが持っている RC 活動に対するイメージを懇談会や講師卓話という形で確認し、我々の思いと深い乖離を目の当たりにしました。その接点を求めるべく、30周年での記念事業では自己満足な寄付行為ではなく、本当に必要とする組織に対して、当クラブ広報委員会、各務原市の努力により効果的な結果が得られたものと確信しています。今期まだ会員増強はできていませんが、この地道な活動、積み重ねた理念目標は我々にはあります。

最後にすべてのロータリアンに感謝致します。



## 一年を振り返って

各務原かかみのロータリークラブ  
会長 池戸 一成

会長就任早々の7月1日、当クラブのメイン事業である『かかみの音楽演奏会』が開催され、私にとっては、緊張の中に身の引き締まる思いを感じながら幕をあげた一年でした。

当クラブは極めて少人数のクラブであり、何をやるにしても全員一丸で当たらないと事業をこなすことができません。特に、本年度は当クラブがIMのホストを務める年でもあり、大変な重圧を感じる年度となりましたが、IMの際は市内の防犯パトロール隊の皆さまのご協力をいただき、もう一つのメイン事業の「盲導犬育成募金活動」においてはふれコミ隊の皆さんに助けられながら、お陰様で素晴らしい一年を終えることができそうです。当クラブの活動を温かく見守り、ご理解、ご協力をいただきました木村ガバナーはじめ地区理事の皆さま、東海北陸道グループ内ロータリアンの皆さまに対し、深く感謝申し上げます。



## 一年を振り返って

高山ロータリークラブ  
会長 若田 一博

伝統と格式を重んじる高山 RC の「平成」最後、そして「令和」最初の会長を務めさせていただきました。各事業共無事に進められたこと、メンバーは基より関係の皆様には心より感謝申し上げます。

本年度の地区重点目標をクラブ活動の基本と考え、会員の増強についてはメンバー皆様の協力のおかげで高山 RC にふさわしい会員を順調に増員することが出来ました。そして退会者がいなかった事が何よりでした。毎週の例会はメンバーの皆様と高山 RC をより深く理解していただき次の時代へ引き継いでほしいとの強い思いから「奉仕の理念」の浸透、そして高山 RC の歴史を掘り起こしながらの例会運営を心掛けた。一泊二日での例会も実施させていただきました。また、新しい時代に向けて地域で活躍の皆様と卓話をいただき、充実した楽しい例会運営が出来たと自負しております。今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

**一年を振り返って**下呂ロータリークラブ  
会長 大塚 正義

青少年交換事業をはじめ、7つの継続事業を滞りなく実施でき、次年度につながることができ安堵しております。

とりわけ、3年目となる減塩食推進による健康寿命の延伸と地域活性化事業につきましても、会員の皆様は勿論、行政、各種団体の協力を得て着実に浸透し、今や下呂市内に停まらず、市外からも注目を浴びるようになりました。

これにより、ロータリークラブの認知度が少しでも上がり、公共イメージアップにつながってほしいと願っています。

任期中の会員増は達成されていませんが、ロータリーの事業を通じて賛同して頂ける人材を募っていききたいと思います。

今後共、会員各位の一層の御協力をお願い致します。1年間ありがとうございました。

**一年を振り返って**可児ロータリークラブ  
会長 溝口 守

2018年3月頃は、会長エレクト研修セミナーに出席した後で、本当に自分に会長の任が務まるのか不安が高まって来た時期でした。あれから一年が過ぎ、何とか会長職も離れることが出来そうです。これもクラブのメンバーのおかげだと感謝しております。

7月になって最初の事業、可児市ジュニアゴルフスクールの協賛はメンバーの協力で、事故も無く無事に終了しました。9月・10月はガバナー公式訪問、地区大会、IMと忙しい日が続きました。

一番良かったのは、女性会員を含むメンバーが増えたことです。私としては、何か新しい事業を考えたいと思っただけでも、時間に余裕が無く、例会を済ますだけで精一杯でした。

皆様のおかげで一年間無事に事業が行うことが出来、本当に有難うございました。

**一年間のロータリー活動を振り返って**高山西ロータリークラブ  
会長 門前 庄次郎

今年度「ロータリーに創意と工夫を」をスローガンとし活動してきました。今迄の積み重ねで継続して行く事業や新しく取り組む事業に於いても、少し視点を変え工夫をしながら活動をして行く事を大切にしました。また全会員参加の「汗をかく奉仕活動」と言う事で他団体の連携交流の中で、社会福祉協議会の福祉フェスティバル参加やインターアクト部合同の公園整備事業など、新しい取り組みも行う事が出来良かったと思います。

また『CLP・戦略計画検討委員会』を立ち上げ、委員会や全会員で現状を振り返り、今後のあるべき姿を話し合ってきました。今年度はその土台作りが出来ましたので、来年度には新しい体制が作れる様になり楽しみな処です。

**一年を振り返って**高山中央ロータリークラブ  
会長 高原 清人

早いもので会長就任後一年が経とうとしております。至らぬ会長ではありましたが、幹事を始め会員の皆様の絶大なご理解、ご協力に感謝申し上げます。

「凡事徹底」～友情と情熱と行動と～をテーマに掲げ、本年は奉仕の理念に立ち返り、足元を見直し当クラブの持てる力を更に培い、新たな年度へのインスピレーションとなれるはずの年でありましたが、ガバナーノミニエ選出等々突発的な課題が勃発し、大童の1年となりました。しかし、グローバル補助金事業への具体的な取り組みや、新たな青少年奉仕活動の展望等、必ずや収穫に繋がる種を蒔くことの出来た年であったと思っております。あと2ヶ月まだ達成途上の課題をクリアしつつ、平成から令和となつて尚、RCの歩みを留めることなく、会員の皆様と共に邁進し続ける努力をしていきたいと願っております。

**一年の活動を振り返って**美濃加茂ロータリークラブ  
会長 藤吉 紀美

今年度の美濃加茂RCのテーマ「共に語り、共に行動しよう！」をスローガンに活動してまいりました。

地区補助金を活用した地域小学生のスナックゴルフ体験、グローバル補助金を活用した識字率向上プロジェクト、市内公園等の清掃及びメンテナンス活動、青少年交換事業等行わせて頂きました。

事業を行う度に反省し勉強させて頂き、例会の会長の時間もテーマを持ち、あまり堅苦しくなく、時には笑いを誘う工夫を重ねてまいりました。理事役員、各委員長、会員の皆様にご協力頂き、また近年若い会員も増え明るく楽しくクラブ運営が出来ました事に感謝申し上げます。

今後ますます活気溢れるクラブになるよう、恩返しをしつつ会員の皆様と共に努めてまいりたいと思います。

あっという間の一年でした。ありがとうございました。



## RID3600（韓国）地区大会参加報告

地区代表幹事 間宮 久人

4月24・25日と、木村ガバナー夫妻、田山直前ガバナー、布目インターアクト部門委員長、間宮代表幹事の5名でRI第3600地区の第23回地区大会に参加しました。

第一日目の会場はソウル市近郊の広大な嘉泉大学構内のコンベンションホールで財団寄付者の為の昼食会、本会議、代議員会と進行しました。研修主体のプログラムでした。引き続きのウェルカムバンケットは、400名近い参加者でした。4月時点の集計91クラブ会員数3,607名で今季252名の増強が図られたとのことでした。

第二日目の本会議は、地区総会ということで、市内から車で1時間程の利川アートホールで開催されました。1,500名程の会場でした。友好地区として木村ガバナーも祝辞を述べられました。



## 鈴鹿・亀山グループ ロータリーデー開催（ポリオ撲滅募金活動）

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐 村山 竹則

2019年4月6日（土）10:00～16:00

於：旭化成（株）鈴鹿製造所 鈴鹿さくら祭り会場内



国際ロータリー第2630地区鈴鹿・亀山グループ（5クラブ）は、鈴鹿さくら祭り会場にて、ロータリーデーを開催しました。当日は、天候に恵まれ満開の桜の下で、各ロータリークラブ

の会員、インターアクトクラブの顧問の先生、部員の皆さんが参加してポリオPR入りポケットティッシュを配布し募金協力を呼びかけました。

ポリオパネル「ポリオのない世界まであと少し」「ポリオ撲滅まであと少し」を掲示することで、市民の方にポリオ撲滅への理解を深めていただき、ロータリークラブの活動を知っていただくよい機会となりました。

今後もグループ全体でポリオ撲滅への活動に注力してまいります。



## 各務原高校インターアクトクラブとのポリオ募金活動

### 各務原ロータリークラブ



去る4月20日午前10時よりJR岐阜駅において、各務原インターアクトクラブと共同のポリオ撲滅のための募金活動を行いました。当ロータリークラブからは6名、各務原高校インターアクトクラブからは、生徒21名、教師2名の合計23名にご参加いただきました。また、故金ポリオ・プラス小委員会委員長も応援に駆けつけていただき、募金活動を行いながら、生徒にポリオについての知識と募金活動の意義

を熱心に教えていただきました。生徒のみなさんも、始めは緊張して声が出ていませんでしたが、募金してくれる人が増えるにつれて、積極的に声が出るようになりました。募金をしていただいた時のうれしさは、社会奉仕を実感し有意義な経験になったと思います。

わずか1時間程度の活動でしたが、25,192円の募金を集めることができました。募金していただいた皆様はもちろんのこと、生徒のみなさんにも感謝申し上げます。この活動を地元ケーブルテレビも取材しており、ロータリークラブとしての広報活動になったと思います。



## 岐阜城ロータリークラブ 25周年

岐阜城ロータリークラブは創立 25 周年を迎え、記念式典と記念事業を下記のとおり行いました。

記念式典は、2019 年 4 月 20 日（都ホテル 岐阜長良川）、柴橋岐阜市長をお招きして開催し、記念講演では、金華山研究家・宮部賢二氏が、「検索不能“裏”金華山だより」との演題で、岐阜城をいただき清流長良川が麓を流れる金華山について、織田信長の功績、登山道のあれこれ、幻の滝、忍者の隠れ岩窟、天然湧出金華鉱泉（金華山温泉）、事業家澤田文次郎氏などについて語りました。



記念事業は、長良川への稚鮎の放流事業です。4 月 21 日、岐阜県里川振興課の鈴木主任技士から「世界農業遺産清流長良川の鮎」の説明があり、その後、岐阜市長も参加し、子ども達も一緒に、180 名の参加者全員で稚鮎を放流しました。清流なればこそ生き育つ鮎の放流体験は、長良川の大切さを多くの人々に伝えることとなります。当クラブの事業としては 3 回目となりました。

## 郡上八幡ロータリークラブ 50周年

開催日時 2019 年 5 月 12 日（日） 10:00～14:00

場 所 ホテル郡上八幡

郡上八幡ロータリークラブ 50 周年記念式典が、県会議員副議長 野島征夫様、郡上市長 日置敏明様、木村静之ガバナー、可児昌則ガバナー補佐、友好クラブ新湊ロータリークラブ伊藤雪枝会長をはじめ、数多くの来賓の臨席を得て、ロータリアンを含め総勢 116 名出席のもと盛大に開催されました。



ガバナー表彰では、元ガバナー補佐である大畑於左武会員も表彰されました。100 歳の高齢でも例会出席を欠かさず、杖などの補助器具を一切使わない元気なお姿で表彰を受けられました。



今回、50 周年記念事業として、昨今多発する自然災害や交通状況等の情報発信を通じ、安全・安心な地域づくりに寄与することを目的として、郡上市に電光掲示板が寄贈されました。

今回、50 周年記念事業として、昨今多発する自然災害や交通状況等の情報発信を通じ、安全・安心な地域づくりに寄与することを目的として、郡上市に電光掲示板が寄贈されました。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

2019.4.12

Vol.229

## 【訃報】名誉理事長 板橋敏雄氏 逝去



当会名誉理事長（前理事長）の板橋敏雄氏が、3月23日にご逝去されました。享年89（満88歳）でした。

板橋氏は1962年に足利東ロータリークラブに入会され、1987-88年度第255地区（栃木・茨城）ガバナー、1995・96年度国際ロータリー研修リーダー、2001-03年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては、2003-07年度監事、また、2007年8月からは7年間にわたり第5代理事長

をお務めいただきました。ご自身の長いロータリー歴の中でも「米山記念奨学会の理事長という職責ほど、大きなやりがいを感じたものはない」と語り、あらゆる場で当事業の“感動”を伝え、国内外、特に海外学友会には可能な限り足を運ばれました。理事長在任中には中国・タイ・ネパール・モンゴルのほか、国内を含めると9つもの学友会が誕生し、当事業の発展のために多大なご尽力をいただきました。

4月23日には足利市民会館において、社葬として葬儀・告別式が行われるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

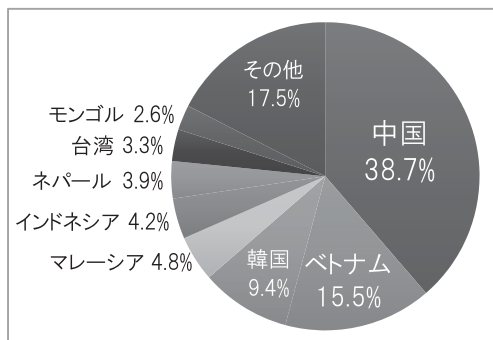
## 2019 学年度新規奨学生オリエンテーション開始

2019学年度の奨学生は昨年度より17人増の871人となりました。新規採用者641人、継続者230人です（4月10日現在）。国・地域別にみると、中国38.7%、ベトナム15.5%、韓国9.4%、マレーシア4.8%、インドネシア4.2%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が812人

（学部：321人、修士：268人、博士：223人）、地区奨励奨学金17人、クラブ支援奨学金9人、海外学友会推

薦奨学金4人、今年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は29人となっています。3月30日を皮切りに、今月下旬まで、

各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名した後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。



## 寄付金速報 — 2018-19年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金:0.07%減、特別寄付金:0.9%減）、約730万円の減少となりました。普通寄付金、特別寄付金ともに前年同期比から減少しているものの、過去5年間の平均寄

付額からは上回っており、堅調を維持しています。今年度も残り3カ月を切りました。今後は特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2019年4月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 名 員	桑 名	96.43	4	41	0	42	0	1	0
	桑 名 西	83.79	4	35	0	37	0	2	0
	桑 名 中央	80.57	4	27	1	31	1	4	0
	桑 名 北	96.88	4	32	8	32	8	0	0
	グループ計(4)	89.42		135	9	142	9	7	0
四 日 市	四 日 市	98.53	4	92	0	94	0	10	8
	四 日 市 北	72.62	4	22	5	23	5	1	0
	四 日 市 西	95.31	4	68	4	69	4	3	2
	四 日 市 南	85.81	4	37	3	39	4	2	0
	四 日 市 東	100.00	4	39	1	40	1	3	2
	グループ計(5)	90.45		258	13	265	14	19	12
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	70.38	4	66	8	67	9	4	3
	鈴 鹿 西	70.89	4	40	7	40	7	1	1
	鈴 鹿 ベイ	58.97	3	12	0	13	0	1	0
	亀 山	92.50	4	14	0	12	0	0	2
	鈴鹿シティ	75.37	4	64	4	68	4	5	1
グループ計(5)	73.62		196	19	200	20	11	7	
中 勢 ・ 伊 賀	津	93.54	4	65	0	67	0	4	2
	上 野	96.62	4	40	1	40	2	4	4
	名 張	98.55	4	36	2	36	2	1	1
	津 南	95.60	4	49	2	50	2	3	2
	津 北	91.06	4	40	3	47	4	9	2
	上 野 東	100.00	4	40	3	39	3	0	1
	久 居	95.06	3	27	1	27	1	1	1
	名張中央	83.82	4	22	1	24	1	2	0
	グループ計(8)	94.28		319	13	330	15	24	13
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	89.94	4	78	0	79	0	2	1
	松 阪 東	77.01	3	56	11	58	10	3	1
	熊 野	56.25	4	35	5	36	5	1	0
	尾 鷲	67.45	4	12	2	14	2	2	0
	松 阪 山 桜	81.58	3	38	4	38	4	1	1
	グループ計(5)	74.45		219	22	225	21	9	3
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	82.94	3	61	0	61	0	1	1
	鳥 羽	80.00	4	30	4	32	4	2	0
	伊 勢 南	93.05	4	43	0	42	0	2	3
	志 摩	78.65	3	48	11	48	12	2	2
	伊 勢 中央	95.14	4	50	0	49	0	0	1
	伊 勢 度 会	100.00	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)	88.30		247	19	247	20	7	7
三重県合計 (33)	85.89		1,374	95	1,409	99	77	42	
地区合計 (75)	83.73		3,131	156	3,213	170	185	103	

■ 2018年4月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計 (43)	84.80	1,747	1,801	59	54
三重県合計 (33)	86.55	1,339	1,387	97	48
地区合計 (76)	85.56	3,086	3,188	156	102

(注) グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	90.28	4	83	0	82	0	6	7
	岐 阜 西	77.09	3	52	0	52	0	1	1
	岐阜長良川	89.20	4	49	0	50	0	1	0
	岐 阜 北	98.37	3	30	1	38	3	8	0
	岐 阜 中	85.72	4	26	1	28	1	2	0
	グループ計(5)	88.13		240	2	250	4	18	8
岐 阜 B	岐 阜 南	79.62	3	100	8	92	9	3	11
	岐 阜 東	80.33	4	48	1	49	2	4	3
	岐阜東南	75.39	3	38	0	38	0	1	1
	岐阜加納	75.14	3	70	2	78	3	9	1
	岐阜エトス	60.31	4	20	2	20	2	0	0
	岐 阜 城	94.64	4	15	0	16	0	1	0
	グループ計(6)	77.57		291	13	293	16	18	16
岐 阜 西 濃	大 垣	80.84	4	85	0	89	2	4	0
	大 垣 西	91.45	4	75	0	76	0	4	3
	本 巢	87.11	4	30	0	29	0	1	2
	羽 島	84.93	2	28	4	31	4	3	0
	不 破	91.13	4	30	0	31	0	1	0
	大 垣 中	85.35	2	42	0	49	0	7	0
	大垣センチュリー	80.71	3	49	1	55	3	6	0
	岐阜淡墨	94.65	4	15	1	14	1	0	1
	岐阜サンリバー	86.11	4	20	4	19	3	0	1
	グループ計(9)	86.92		374	10	393	13	26	7
岐 阜 東 濃	多 治 見	84.05	4	49	3	49	3	3	3
	中 津 川	92.42	3	74	2	73	2	3	4
	瑞 浪	79.02	4	57	1	57	1	1	1
	恵 那	76.04	4	45	1	50	1	8	3
	土 岐	93.90	4	41	1	42	1	1	0
	多 治 見 西	71.54	4	33	4	33	4	2	2
	中津川センター	74.98	4	48	1	49	1	2	1
	多治見リバーサイド	85.00	4	40	1	39	1	1	2
	グループ計(8)	82.12		387	14	392	14	21	16
	東 海 北 陸 道	美 濃	79.71	3	27	0	23	0	0
各 務 原		61.83	4	24	0	25	1	3	2
関		90.63	4	50	2	50	2	1	1
郡上八幡		93.45	4	40	0	38	0	0	2
関 中 央		88.89	3	32	0	32	0	2	2
郡上長良川		83.57	4	33	6	35	6	3	1
各務原中央		55.50	3	27	2	27	2	0	0
各務原かかみの		75.00	4	10	2	10	2	0	0
グループ計(8)		78.57		243	12	240	13	9	12
濃 飛		高 山	84.67	4	41	0	45	0	4
	下 呂	66.67	3	22	0	22	0	0	0
	高 山 西	90.63	4	40	0	40	0	1	1
	美濃加茂	63.69	4	37	7	42	7	6	1
	可 児	82.25	2	27	0	31	1	4	0
	高 山 中央	83.64	3	55	3	56	3	1	0
グループ計(6)	78.59		222	10	236	11	16	2	
岐阜県合計 (42)	82.03		1,757	61	1,804	71	108	61	

## 2019年4月分

### 受章

桑名北 RC



小笠原まき子  
県民功労賞

### 入会会員

四日市 RC  岡本 淳 2019.4.4 入会 労務提供	四日市 RC  松岡敬三 2019.4.4 入会 普通銀行	四日市東 RC  高木義治 2019.4.1 入会 鮎料理店	四日市東 RC  古川高充 2019.4.1 入会 衛生工事業	四日市東 RC  吉田裕一 2019.4.1 入会 内装工事業	津北 RC  田中好昭 2019.4.18 入会 社会保険労務士	津北 RC  林 竹生 2019.4.4 入会 クレジットカード業
久居 RC  長坂真司 2019.4.1 入会 生命保険	松阪東 RC  西山 定 2019.4.15 入会 旅行業	伊勢南 RC  竹内一真 2019.4.11 入会 生命保険	岐阜北 RC  木田高広 2019.4.3 入会 行政書士	岐阜北 RC  古野登喜夫 2019.4.3 入会 保育園	岐阜南 RC  三宅和哉 2019.4.18 入会 電力供給	岐阜加納 RC  中野義人 2019.4.12 入会 損害保険
本巢 RC  福田 中 2019.4.2 入会 司法書士	羽島 RC  佐溝勝樹 2019.4.9 入会 機械メンテナンス	多治見 RC  加藤 誠 2019.4.24 入会 美術陶器製造	中津川 RC  内山 武 2019.4.11 入会 商業銀行	中津川 RC  小林俊介 2019.4.11 入会 証券業	恵那 RC  中島豊己 2019.4.16 入会 普通銀行	関 RC  栗倉晋吾 2019.4.9 入会 金型製造

### 逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

亀山 RC



伊藤敦彦  
1996.8.8 入会  
2019.4.10 逝去  
2018-19 年度会長

松阪 RC



奥村徳男  
1991.3.1 入会  
2019.4.8 逝去  
2015-16 年度会長・米山功  
労者マルチプル・ホール  
ハリスフェロー・ベネファ  
クター

郡上八幡 RC



和田詠伸  
1994.6.8 入会  
2019.4.9 逝去  
2013-14 年度会長



【表紙】 記憶  
撮影者 北川 力三

長良川河川敷の竹林で、蛍たちの生きた証や命の軌跡を構図を考えて撮影しました。

## 国際ロータリー第2630地区

# 2019年 地区研修・協議会 報告

開催日 / 2019年4月14日(日)  
場 所 / 三重県総合文化センター 大ホールほか  
ホスト / 津ロータリークラブ

地区内(岐阜県・三重県)75クラブの会長エレクト、次期幹事、次期委員長、新会員など約900名とパストガバナー・地区委員長・地区委員約100名が一堂に会して本会議が行われました。出席者が8つの分科会に分かれ、地区委員会を中心として討論が行われました。



「次期RIテーマと地区活動方針」を辻 正敏ガバナーエレクトは、2019-2020年度国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー(ジケーターロータリークラブ アラバマ州(米国))が1月の国際協議会で発表した動画を放映すると共に「ロータリーは世界をつなぐ」(ROTARY CONNECTS THE WORLD)について説明しました。

また、ロータリーのビジョン声明、中核的価値観、そして新しい戦略計画(四つの優先項目)について語りました。

### 次年度の地区テーマ「総天然色」

辻 正敏ガバナーエレクトは地区のロータリアンに向けて、「それぞれのクラブが、それぞれの地域の独自性を保ち、さらに広い範囲で世の中でのより良い変化を目指しながら、人々が手を取り合って行動を始めましょう」と訴えました。



辻ガバナーエレクトの講演



修了証書の授与

2018-2019年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

URL <https://www.rid2630.jp/>

地区事務所 〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16  
TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail [branch@rid2630.org](mailto:branch@rid2630.org)

執務時間 9:30~17:30  
(土・日・祝日 休務)

ガバナー事務所 〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2 岐阜都ホテル3階  
TEL 058-210-2630 FAX 058-210-2631 E-mail [1819@rid2630.org](mailto:1819@rid2630.org)

執務時間 10:00~15:00  
(土・日・祝日 休務)